



庄内の四季と随想(その二)

一 幼き頃の追憶 粕谷宏夫

「4」春の小川

米所にとり、水路は大事な生命線。先人が苦勞をして町の内外に張り巡らした幹線運漕水路の二、三に就いては...

それれもこれも、元を質せば、総延長二千四百一十キロメートル、吾妻運峰に瀕を築き水量豊富な最上川の恵みにならぬ。...

「5」春陽の輝き

自然の輝きとか、美しく輝く季節とか言う表現は、耳にも目にもし口にもするが、併し、庄内地方の春を語る時、それでは物足りないものを感じる。

春の知らせの先達とも言える、フキノトフ、ネコヤナギの開花に誘われるように、四月も半ばになると白梅が満開となり、早くも一通開の春を語る。...

「3」夏の夜の思い出 (慰霊の月に思う事)

夕食後は、家族全員で螢飛び交う小川の辺で、よた夕涼みをしたものがある。外は、闇と静寂を、目に入るのは、美しく静寂と、時々光る稲妻に浮かぶ上る出羽丘陵のシルエツトだけであり、耳に入るものはと云えば、水の流れる、一面の稲田を風が渡る、サラサラと出葉擦れの音だけである。...

「1」夏の遊び

田植え、稲刈り等の臨時休校の為夏休みは少なかつたようである。始まるも、待ち兼ねた我々子供達は一斉に、川での遊びになる。町の中を、流れる川での梯子の筏下り、流れの無い川での、かじ堀と外を飛び回っていた。...

「2」父の夏の思い出

私の場合と言うか、私達の世代と言うのが、父との触れ合いは専ら家事に纏わる作業を通しての事が多かった。...



以下次号

「日本のCO2」

インダストリーの支流を下っていく途中、立派なコンクリート橋があった。橋幅は十メートル位、橋の袂に「この橋は日本のCO2によって建造された」とある。...

山岳仏教の遺跡

下ってきたフンザ川はキルギツト川と合流し一時間ほど下ると大河インダスと合流する、この地点で川巾は千五百メートル位、もう後数時間でイスラマバードだ。...

市街地の日本大使館がある反対側にキラキラと天に向かってそびえ立つ世界最大のモスクシャ・ファイサル・モスクがある。一度に十万人が礼拝できる。...



俺のトラック見てくれ

総会件新年会ご案内

日時 : 平成14年1月20日(日)~21日(月) 1泊2食付き
場所 : ホテルリゾート熱海 (TEL:0557-83-5959)
時間 : 15.00 チェックイン
駐車場 : 15台確保 (早い目にお越し下さい)
費用 : 13,000円 飲み放題 食べ放題 カラオケ2時間

お願い

同封の葉書に出欠氏名等記入の上12月20日までに投函をお願いします。
多くの方の出席お待ち申しています。

幹事一同



そびえ立つ世界一のモスク